



新堀小だより

8・9月号

令和5年8月29日発行

校長 若林 寿

元気いっぱい 夢いっぱい みんなが輝く新堀小学校
新堀小3つの約束「心のこもったあいさつ 時を守る みんな仲よく」
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>



『新堀小はじまりの唄』



新堀小学校は、昭和49年(1974年)に、近隣の西堀小学校から分かれ開校しました。また、西堀小学校の歴史は古く、開校は明治13年(1868年)に逆上ります。菅西学校として野火止学校より分離し、菅沢八幡神社の側に開校されます。まさに、明治維新の松下村塾のような寺子屋からのスタートでした。今年度、新堀小は開校50年ですが、西堀小から受け継ぐ歴史は144年です。約15年前、私が西堀小で勤務をしていたとき、倉庫を片付けるとなんと開校当時の『校訓』が見つかったのです。当時の校長先生が額に入れて体育館に掲額しました。

『校訓』 禮儀(れいぎ) 質朴(しつぱく) 自治(じち)
禮儀…礼儀作法

相手のことを思いやり、気持ちよく行動すること
質朴…質朴剛健(質実剛健)

素直(誠実)で、心身ともにたくましいこと
自治…自主自律

よくするために主体的に考えて、実行すること

この教えは、時代を経ても変わらない素晴らしいものです。今、パラダイムチェンジの時代を迎え、不易と流行を見極めることがとても大切であると捉えています。開校50周年を機に、改めてこの校訓(教え)を新堀小でもしっかりと受け継いで行こうと考えます。『新堀小はじまりの唄』が聞こえてきます。



グローバル人材の育成

1学期終業式での4年生児童の代表挨拶を紹介いたします。

一学期で特にがんばった事は、外国語です。なぜかというところ、四月にCAJと交換留学をした時に、CAJに通っている日本人の子が英語でスラスラと会話をしていた、すごいなと思ったからです。CAJでは、授業もすべて英語でした。日本人同士でも一切日本語を使っていなくて、びっくりしました。すごいなと思いました。CAJへの参加が決まった時、あいさつなど調べて練習したのは伝わったけど、全部が英語だったの、分からない事がたくさんありました。勉強をしてもっと英語を話せるようになったら、外国人と会話をしたいと思ったので、外国語の授業では、英語辞典を使ったり、英語の教材を活用したりしました。発表の時は積極的に手を挙げるようにしました。二期はもっと知りたいので、分らない単語があつたら辞書などで調べようにしたいです。もっと英語をがんばりたいです。C A Jとまた交流がしたいです。

これから本格的にパートナーズスクール CAJ との交流がスタートします。また、外国人教員(米国、欧州)と児童・教職員が交流するイマージョンプログラムも11月に第二弾を予定しています。多くの児童が、将来に繋がる素晴らしい経験ができるよう計画を進めて参ります。本校でのCAJとの交流、イマージョンプログラムについては、参観自由といたします。ご家庭のご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

○イマージョンプログラム第2段【参観自由】

11/13(月)3時間目

○パートナーズスクールCAJとの交流

・直接交流GO【引率ボランティア募集】

2年生11月(予定)

6年生2月(予定)

・直接交流COME11月(予定)【参観自由】

3年生～6年生

・オンライン授業2～3学期(予定)【参観自由】

3年生～6年生

・CAJライブラリアン読み聞かせ11/7(火)

たんぼぼ、1年生

【参観自由】

※詳細は後日ご案内します。

学校評価

学校評価に関するアンケートへのご協力、ありがとうございました。以下の推進、改善を図ります。

【重点】

○グローバル人材の育成(No.2)→CAJ交流の本格的なスタート、地域社会と連携した教育活動の充実

○正しい言葉遣い、家庭学習・読書の習慣(No.5～13)→家庭と連携し推進・改善を行っていく。

【改善点】

○授業参観(No.1、No.3 家庭との連携)→CAJとの交流等、授業公開の機会を増やします。

※授業参観は、基本いつでも可能です。希望する場合は、学校又は担任へお伝えください。

※小さいお子様を連れた参観でも大丈夫です。

○保教会活動(No.3 家庭との連携)→会の在り方や活動内容について見直を図ります。

○登校時間(No.5 安全)→登校時間を変更 ※1学期末のお便りでお伝えした通り

○悪天候時における下校対応(No.5 安全)→下校時刻が変わったときは、メールでお知らせいたします。

この他、頂いた個々のご意見に対しては、できる限り個別に対応・改善をして参ります。